

平成27年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	高山市	学校名	高山市立荘川小学校			
校長名	平田 誠	対象学年	全校	人数	61人	
活動名	郷土を知り、郷土を愛し、郷土に貢献できる児童の育成	時間数	320時間	継続年数	28年	
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 ⑥ その他（福祉）		[荘川の森林、河川] [荘川桜、飛弾ん爺] [お囃子、獅子舞など] [荘川蕎麦] [合同運動会、一斉清掃] [ディサービス訪問]			
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、小学校、中学校が連携し、子どもたちに身に付けさせたい力を明確にし、12年間を通して段階を追って確実に身に付けさせる。また、その成果を年に1回、公表会の場で地域住民に伝えている。 ・ 学年の上の子どもたちが、下の子どもたちに伝えたり、教えたりしながら、伝統として学ぶことができるようにしている。 ・ 職員と地域講師との連携を密にし、ねらいを明確にしたり、単位時間での役割をはっきりさせたりしている。 ・ 学んだことを冊子にまとめたり、学習発表会等で発表したりして地域に発信している。 ・ 学校便りで、地域の方との交流を記事にし、荘川地区全戸配布して学んでいることを発信している。 					
1 ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ 荘川の自然、伝統文化、歴史、産業、人材などから学習を構成し、郷土荘川を学んでいくことによって、郷土の良さや問題点を知り、ふるさと荘川に誇りをもちながら、発展させていこうとする態度を育成する。 ・ 荘川の先人や自然、文化、産業を守ろうとする人々の生き方や考え方を学習し、荘川に誇りと愛情をもって発展させることに貢献しようとする態度を育てる。 ・ 児童一人一人が学校行事や諸活動を通して、地域の一員としての自覚と誇りと喜びをもてるようにする。 						
2 活動の概要						
① 1年生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 荘川の植物や動物に直接触れ、遊んだり、飼育をしたり、作品を作ったりすることを通して、郷土の豊かな自然に愛着をもち、親しむ態度を育成する。 						
② 2年生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、消防署、駐在所、図書館などの施設を訪問し、仕事の内容や働いている人の思いをインタビューを通して学び、地域のためにたくさんの人が働いていることを知る。 						

- ・ディサービスセンター「ささゆり苑」を訪問し、お年寄りの方との交流を通して、自分たちが大切に思われていることや喜んでもらえる充実感などを味わう。

③ 3年生

- ・4年生から獅子頭の作り方を教わり、一人一人が自分の獅子頭を作成する。
- ・地域講師から、荘川地区の獅子舞やお囃子の指導を受け、舞ったり演奏したりできるようになる。
- ・地域講師から、笠踊りや手踊りを教えていただき、小中合同運動会で発表する。

④ 4年生

- ・荘川特産の蕎麦の種まきから収穫、蕎麦打ちまでを地域講師に指導を受けながら体験すると同時に、荘川の自然や環境に適した作物について学習する。
- ・3年生で習った獅子舞を、中学生と一緒に公表会で披露する。
- ・地域講師から、笠踊りや手踊りを教えていただき、小中合同運動会で発表する。

⑤ 5年生

- ・荘川の森林の特徴や森林の役割を地域講師から学ぶとともに、簡単な林業体験を通して身近な自然についての理解を深める。
- ・荘川桜の歴史や当時関わった人たちの思いを学ぶとともに、荘川桜の写生や清掃活動を行って、大切に受け継がれている荘川桜に愛着をもつ。

⑥ 6年生

- ・地域講師から大原騒動や郷土の偉人「飛弾ん爺：上木甚兵衛」とその息子「三島勘左衛門」の偉業を学ぶ。
- ・夏休みに東京都新島に研修に出かけ、お墓参りや新島小学校6年生との交流を通してその生き方を深く理解し、親子愛や郷土愛を育てる。また、学んだ内容を冊子にまとめ、地域に発信する。
- ・地域講師に案内していただき、荘川・高山間の昔の街道を実際に歩き、昔の人たちの苦労や思いを感じる。

⑦ 全校

- ・地域講師を招き、稚魚放流や釣り体験を行い、荘川を流れる庄川とともに暮らしてきた文化に触れ、郷土の自然をこれからも大切にしていこうとする心情を育てる。
- ・小中合同運動会で、郷土の民謡「えっさえさ」を小中学生と地域の方が一緒になって踊り、郷土芸能に親しむ。
- ・ディサービスセンター「ささゆり苑」を訪問し、小学校で大切に取り組んでいる「合唱」を聴いていただき、喜んでいただくと同時に親睦を深める。
- ・年1回の地域行事「ふれあい研修会」に全校で参加し、合唱（小学校・小中学校合同）を発表したり、代表者が「郷土荘川」についての思いを語ったりして、地域に発信する。
- ・年1回の保小中公表会において、小中合同合唱を行ったり、今後も大切に引き継いでいきたいという思いでお囃子や獅子舞を地域の方々に発表したりする。

※全体として特に今年度は

- ・地域講師をお招きする場合は、体験だけで終わることがないように、事前に担任と打合せの機会を設け、ねらいや単位時間における講師と担任の役割分担について確認してから授業に向かうようにした。

- ・その人の思いや生き方に必ず触れるようにし、自分が思ったことや感じたことを発表させたりしてみんなで共有するようにした。
 - ・学んだことをできるだけ多くの機会を設けて地域に発信できるようにした。
- 以上のことを大事にした。

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・多数の地域講師を依頼し、担任との連携を密にして指導いただき、学校と地域が一体となって子どもたちを育てていくことができるようにしている。
- ・地域一斉清掃活動に全児童が参加し、地域住民とともに「みんなで郷土荘川を美しく」という思いで清掃活動を行っている。
- ・各地域の祭礼に、多くの子どもたちが自主的に率先して参加している。
(村芝居、お囃子、獅子舞、舞踊など)
- ・地域行事で、代表児童がふるさと荘川に対する思いを語っている。

4 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

◇児童アンケートより

①「ふるさと荘川は好きですか？」

低学年：	すごく好き 78%	まあまあ好き 22%	あまり好きでない 0%	好きではない 0%
中学年：	すごく好き 60%	まあまあ好き 40%	あまり好きでない 0%	好きではない 0%
高学年：	すごく好き 65%	まあまあ好き 35%	あまり好きでない 0%	好きではない 0%

- ・自然が豊かで、魚釣りやスキーなどいろいろできるし、きれい
- ・みんなが仲良し
- ・お祭りとかあってみんなで楽しめる

②「ふるさと荘川に住む人たちのいいなあとと思うところは何か？」

- ・みんな優しい
- ・みんなが挨拶し合うし、挨拶すると笑顔で返してくれる
- ・いろいろな行事をみんなで協力してやる
- ・一緒にいろいろやってくれる
- ・頑張ったときほめてくれる
- ・お祭りを大切にしている
- ・みんなの絆が強い

- ・アンケートからもわかるように、児童みんなが荘川を好きで、そこに暮らしている人たちから愛されていると感じていることがわかる。また、地域のよさも十分感じていることもわかる。

◇3年生郷土学習「獅子舞」を終えての児童の思い ※一部を抜粋

ししまいで女じしは鼻が黒くて、男じしは鼻が赤くて、ちがいがあることがわかりました。みんなも作るとき、女じしときは鼻を黒くしていました。まえるようになってうれしかったです。2月のたから物発表会では、平戸さんに教えてもらったこしをひくくすることを生かして、お客さんに「すごい。」と思ってもらえるように、上手にししまいをしたいです。

◇ふれあい研修大会 5年生の発表より ※一部を抜粋

ぼくは太鼓を習っています。2年生のときから始めて4年間やっています。太鼓をたたくと気持ちがあきります。大人の人やみんなと音を合わせるととても楽しいです。

今年のふるさと祭りでも太鼓を演奏しました。「さくら」という曲をたたきました。荘川桜の力強い感じを表現している曲です。ぼくは力いっぱいたたきました。演奏は大成功。たくさんの拍手をもらえてうれしかったです。来年は大人がやる太鼓にも出てみたいと思いました。

(中略)

地域みんなが、伝統を大切にしていきたい、守っていききたいと思うことで、祭りやしし、村芝居をこれからも荘川の大切な宝として受け継いでいってほしいし、ぼくも受け継いでいきたいです。僕たち子どもも、もっと祭りや地域の行事に参加し、10年後も20年後もこの伝統が残っていくようにしたいです。ぼくは荘川の祭りが大好きです。

◇ふれあい研修大会 6年生の発表より ※一部を抜粋

(前略)

地域の活動では、一年に一度一斉美化が行われています。町内の保育園の子からおじいちゃん、おばあちゃんまでみんなが参加します。6年生は、1年生に「ここにゴミが落ちているよ。」と教えてあげたり、遠いところのゴミを進んで取りに行ったりしました。全町民が参加して地域の掃除をする荘川はすごいです。

(中略)

荘川は、人数が少なくても、学校・地域で温かい絆が育まれています。だから、これからも、荘川に住んでいることに自信をもちたいと思います。そして、荘川以外の人と交流できる場があれば積極的に参加し、そこで仲良くなった人たちに荘川のよさを伝えていきたいと思います。そして、荘川に住みたいと思う人がもっと増えるといいなと思います。みなさんも荘川のよさを一緒に伝えていきませんか。

- ・振り返りや作文からもわかるように、子どもたちは講師の方から教えてもらったことができるようになってうれしかっただけでなく、それをみんなの前で発表することにやりがいや充実感を感じていることがわかる。
- ・その人の思いや生き方を感じ、荘川の伝統として、自分もできることをやって大事に受け継いでいきたいという思いをもっていることがわかる。